

平成 14 年 9 月 26 日

< 報道資料 >

パイオニアビデオ㈱からの「記録用光ディスク生産装置」事業移管について

東北パイオニア株式会社（本社：山形県天童市 代表取締役社長：山田昭一）は、この度パイオニアビデオ株式会社（本社：山梨県中巨摩郡田富町・パイオニア㈱100%出資子会社）より、同社がプラズマディスプレイの生産事業に転換することを受けて、同社における主力事業の一部であった光ディスク生産装置の開発および生産・販売事業の移管について営業譲渡交渉を重ね、本年 10 月 1 日より、当社の FA(ファクトリーオートメーション)事業部および部品開発センターの事業の中に新しく組み入れる事にしました。この事業移管はパイオニアグループにおける「事業の選択と集中」というグループ経営戦略に則り、当社のモノ創りの強みである金型事業および FA システムを更に充実強化することで、東北パイオニア㈱のみならず牽いてはグループ全体の強化を図ることとなります。

今回 FA 事業部および部品開発センターに移管する製品および事業は次の通りです。

CD & CD - R 生産装置

DVD & DVD - R & DVD - RW 生産装置

DVD 貼り合わせ機

CD & DVD 金型

上記の製品および事業の移管により、当社は下記のメリットを授受できるものと考えています。

FA 事業部では

売上高の増大によるスケールメリット（年間、約 40～50 億円の売上増大の見込み）

光ディスク関連分野への新規参入機会の増大

部品開発センターでは

新たなナノテクノロジーの技術導入による当社ナノ技術の拡充と他事業への応用

従来の金型事業における技術・設備の融合化による一層の効率化の実現

今回移管する光ディスク生産装置の中期的な需要動向は、DVD など光ディスク分野の成長ポテンシャルの高さも伴って、世界市場において一層の拡大が見込まれ、当社においては新たな成長事業を手中にすることになります。

なお、当期の業績見通しに対する影響は、売上については増加を見込んでいますが、利益についてはイニシャルコスト負担があり、軽微にとどまる見込です。

東北パイオニアでは、パイオニアグループの中で、モノ創りにおける中核子会社として、今回の事業移管により、一層の競争力と効率化経営を実現してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

東北パイオニア㈱ 広報部 稲葉・中澤

：023 - 654 - 9198 / FAX：023-654-9526

広報代行 (株)ブラップ ジャパン 長谷川・新井

：03 - 3486-6868 / FAX：03-3486-7502